

高知市地域密着型サービス プレゼン資料

令和 2年 7月 21日

(株)アイ・エム・シーライフステージ

1、基本理念 私達の想い

私達はお客様の状態に応じて、自分達の
「やれること」「やるべきこと」を追求します

～ライフステージ流 福祉のカタチ～ 目指すべき理想の姿

①健康寿命延伸の為の徹底的支援（社会的使命）

↳ 認知症カフェ・サロン・総合支援事業

②1日でも長い在宅生活の支援（機能維持）

↳ 『機能訓練、認知症療法、小多機』のレベルアップ

③重度対応も可能なサービスの提供（医介看連携）

↳ 医療機関との連携・看取りケア

1、基本理念 地域密着型サービスに対する考え方

住み慣れた地域で「安心」して「豊か」に
「いつまでも」暮らせるお手伝いをします

➡ **地域密着型サービスの使命**

その為に

①

● 私達は福祉の専門家集団です

ケアマネ・介護福祉士・看護師・保健師
(理学・作業)療法士、社会福祉士・管理栄養士

在宅生活の維持を、知恵を絞ってお手伝いします

1、基本理念 地域密着型サービスに対する考え方

その為に

②

● 私達は地域の一員です

- ・ 祭りの開催
- ・ ボランティア受入（笑顔マイレージ）
- ・ 認知症サポーター講座開催
- ・ 自主防災組織への参加
- ・ 近隣の保育園、学校との交流
- ・ 健康講座の開催

実績

地域に溶込み・地域と支え合う関係を作ります

2、非常災害に対する地域連携

～事業所の災害時の工夫～

- ① **様々な訓練の実施**（地震、火災、風水害）
 - ⇒年間計4回の実施、避難経路の複数化（南北）
 - ⇒ロールプレイング方式（地域防災推進課のご指導）

- ② **BCPに基づく対応力向上**（令和2年度中に策定完了）
 - ⇒イントラネット活用による情報収集
 - ⇒第3フェーズ（8日目以降）まで耐えうる備蓄

2、非常災害に対する地域連携

～事業所の災害時の工夫～

③ **町内会防災協議会との連携**（近隣高齢者の受け入れ）

⇒ 災害弱者情報の共有、段ボールベッドの備蓄

④ **GH薊野との連携**

⇒ 津波浸水区域外

⇒ 移動経路として高知南国道路を想定

2、非常災害に対する地域連携

「助けてもらおう」だけでなく「地域の中でGHが出来ること」を示していくことで、役に立ち、ひいては地域との関係づくりにもなると考えます。

3、安定した事業所運営（職員の確保）

～人事戦略室の創設（H30年度より）～

- 役割
 - ① **求**人数増の為の**広報**戦略実行
 - ② **定**着率UPの為の人事**制度**改定
 - ③ **サ**ービス力UPの為の**教育**

① 広報戦略（一例）

- ・ HPの刷新（分析による随時更新）
- ・ イベントへの参加（介護相談等）
- ・ 統一デザインの露出増



3、安定した事業所運営（職員の確保）

②人事制度改定（H31年4月～）

- ・資格手当の増額（介護福祉士・ケアマネ）
- ・『介護福祉士』資格取得費用の全額負担
→6人の申請実績



- ☆自分を高めてもらえる
- ☆努力に応えられる

3、安定した事業所運営（職員の確保）

③-1教育

- ・ 役職者への手厚い研修

着任者研修（昇進時・フォローアップ）

施設長・ユニット長・リーダーの階層別研修



☆リーダーシップとマネジメント

☆指導力（介護技術・知識の引出し）

3、安定した事業所運営（職員の確保）

③-2教育

- ・ 新人研修の強化

入社時研修（最大入社6か月以内、平均3か月）

フォローアップ研修（振返り&懇親会）

③-3教育

- ・ 全体研修の強化

班分け→各班にファシリテーター配置

全職員参加の義務化（参加率94%）



3、安定した事業所運営（職員の確保）

その他取組みとして・・・

- ・福利厚生 of 拡充

給与保証型保険（もしもの時にご家族が困らぬように）

サークル（釣り・フットサル・パパママ・バドミントン）

歓迎会・忘年会（2次会まで全額負担）

BBQ・ビアガーデン（家族分含め7割負担）

慶弔金（全職員、2親等）・子女入学祝い金などの制度

- ・ **大家族主義経営 = 連帯感**

- ・ **風通しの良い組織**

3、安定した事業所運営（職員の確保）

< 結果 >

	職員数①	増減率	年間退職者数②	増減率	②÷①
平成30年3月	128		15		11.7%
平成31年3月	126	98.4%	17	113.3%	13.5%
令和2年3月	135	107.1%	14	82.4%	10.4%

※職員数は各年3月31日時点での高知ブロック在籍数

- 職員数は**改善・増加**
- 退職者数は人数・比率の両面で**改善**

4、サービスの質（個別処遇） 基本的な考え方

ステップ
1

理解すべき

前提

お客様は認知症により、不安や混乱から「自信」を無くしがちです

ステップ
2

大切

にすべき
こと

- 今までの暮らしからの継続（を大事にしながら）
- ご自分で出来ていることに自信や生き甲斐（を感じて頂ける支援）

ステップ
3

その上での

ケア プラン

- 今ある力が発揮できること
- 共同生活の中で役割を持って頂くこと
- それらが日常動作の継続に繋がること

4、サービスの質（個別処遇）

自立支援・歩行改善などの取り組み

ステップ
3

その上での
**ケア
プラン**

- **今ある力**が発揮できること
- 共同生活の中で**役割**を持って頂くこと
- それらが日常動作の**継続**に繋がること

ステップ
4

日々の
生活動作

- 調理・洗濯・掃除などの役割をそれぞれの強みに応じて担って頂く

ステップ
5

さらに
取り組む
こと

- 共用型**デイ**の取組参加（レク・体操）
- 散歩の**動機付け**（果樹エリア散策）
- **PT・OT**からのアドバイス（退院時等）

4、サービスの質（個別処遇）

自立支援・歩行改善などの取り組み



さらに

取り組む
こと

ステップ
5

- ① 共用型 **デイ** の取組参加（レク・体操）
- ② 散歩の **動機付け**（果樹エリア散策等）
- ③ **PT・OT** からのアドバイス（退院時等）

ステップ
6

もたらす
効果

- **楽しみや刺激** が得られる（①②）
- 事故リスク **分析の精度** を上げる（③）
- 退院等の帰設時の **対応力** を上げる（③）

ステップ
7

結果

- **継続的な支援** の取組みが可能

5、サービスの質（事業所全体）

身体拘束・高齢者虐待の防廃止

①情報の共有

1. セルフチェックシートの活用（個々の内面）
2. フロア共通での課題抽出・目標設定（目線合せ）
3. 施設幹部会でフロア間共有（目線合せ）
4. 身体拘束適正委員会で施設間共有（他者目線）

個人から始まり最後は全社的に共有して
ます（ボトムアップ）

5、サービスの質（事業所全体）

身体拘束・高齢者虐待の防廃止

セルフチェックシート

チェックリスト		チェック項目			
1	お客様に友達感覚で接したり、子供扱いしたりしていませんか？	していない	していないと思うが対応に不安がある	している	見た・聞いたことがある
2	お客様に対して、あだ名や〇〇ちゃん呼び、呼び捨てなどをしていませんか？	していない	していないと思うが対応に不安がある	している	見た・聞いたことがある
3	お客様に対して威圧的な態度、命令口調で接したりしていませんか？	していない	時々口調がきつくなる	している	見た・聞いたことがある
4	お客様への声かけなしに介助したり、居室に入ったりしていませんか？	していない	時々している時がある	している	見た・聞いたことがある
5	お客様のプライバシーに配慮せずに、職員同士で話題にしたりしていませんか？	していない	うっかりしてしまう時がある	している	見た・聞いたことがある
6	お客様の個人情報を雑に取り扱ったりしていませんか？	していない	思い当たることもある	している	見た・聞いたことがある
7	お客様に対して、「ちょっと待って」を多用していませんか？	していない	思わず口にしてしまう時がある	している	見た・聞いたことがある
8	お客様の必要な日用品（眼鏡や義歯など）は清潔に保たれていますか？	保たれていると思う	気がついていないが共有できていない	保たれていない方が多い	見た・聞いたことがある
9	お客様の必要な道具（コールボタンやシルバーカーなど）は壊れていませんか？	壊れていない	気がついていないが共有できていない	壊れている	見た・聞いたことがある
10	お客様の呼びかけを無視したり、否定的な態度をとっていませんか？	していない	指摘・注意を受けている	している	見た・聞いたことがある
11	食事や入浴介助を工夫せず無理強いしたりしていませんか？	していない	過介護になっていると思う	している	見た・聞いたことがある
12	お客様が嫌がることを強要するような支援をおこなっていませんか？	していない	入浴の促し等、苦勞している	している	見た・聞いたことがある
13	お客様の身体で遊んだり、人格を無視するような関わりをしていませんか？	していない	指摘・注意を受けている	している	見た・聞いたことがある
14	お客様やご家族様の言動を揶揄したり、悪口を言ったりしていませんか？	していない	現場ではないが、職場外では話題になる	している	見た・聞いたことがある
15	プライバシーへの配慮に欠けたケアをおこなっていませんか？（排泄について大声で話したりする）	していない	指摘・注意を受けている	している	見た・聞いたことがある
16	お客様に対して、乱暴なケア、雑な介助をおこなっていませんか？	していない	指摘・注意を受けている	している	見た・聞いたことがある
17	お客様に対して、いい加減な受け答えや態度で接していませんか？	していない	本意ではないが曖昧な返答をしてしまう時がある	している	見た・聞いたことがある
18	他の職員が行っているケアに疑問を感じることはありますか？	感じない	方針や対応にばらつきがあると思う	感じる人が多い	見た・聞いたことがある
19	対応に困ったときや仕事に関わる疑問を周りの職員に話せますか？	上司、同僚ともに日常的に相談できる	同僚にはよく相談する	相談できる人がいない	愚痴を聞いたことがある
20	仕事にやる気を感じられないことがありますか？	目標があり、やりがいを感じている	あまり気にしてないが目標がない	ストレスが多い	見た・聞いたことがある
21	体調がすぐれないことがありますか？	心身ともに体調は良い	時々あるが支障はないと思う	よく体調を崩す	聞いたことがある
22	睡眠はとれていますか？	よくとれている	時間は少ないが心身ともに支障はない	眠れない日が多い	聞いたことがある
23	介護にかかわる職員は虐待と気づくことがあったときに報告義務があることを知っていますか？	知っている		知らなかった	
24	報告する窓口を知っていますか？	知っている		知らなかった	

5、サービスの質（事業所全体）

身体拘束・高齢者虐待の防廃止

②全体研修の強化

- ・前年度は2回実施（参加率98%）
- ・今年度以降も2回の実施予定



③気付きの機会を増やす

- ・セルフチェック、フロア会（①）
- ・朝礼を利用したショートミーティング（チームワーク・他者を理解するなど）

5、サービスの質（事業所全体）

家族、地域住民などとの日常的な交流取り組み

ご家族

①近況報告・行事案内のお便り送付

⇒訪問の**きっかけづくり**

②**家族会**の開催 ⇒ 3ヶ月に1回実施

⇒ご家族だけの集まりも

⇒祭り実施と同日

家族会は集まりやすい雰囲気づくりと工夫をします

5、サービスの質（事業所全体）

家族、地域住民などとの日常的な交流取り組み

地域住民・ボランティア

①自治会との連携⇒お互い顔の見える関係作り

- ・町内会、自主防災組織

②学校との連携

- ・一宮中学校 「一宮おもてなし隊」
「学校支援ボランティア」

5、サービスの質（事業所全体）

苦情受付体制・サービスの質向上

①利用者様や家族様が苦情を出しやすい工夫

- 日々のコミュニケーション（**信頼関係構築**）
⇒ 家族会、訪問時のお声掛けなど
- 相談箱の設置（出しやすい環境）
⇒ 職員の目の触れない場所に

お声を、いかに頂けるか⇒質の向上への近道

5、サービスの質（事業所全体）

苦情受付体制・サービスの質向上

② 苦情をサービスの質向上に繋げていく体制

- 苦情対応研修の受講（全体フィードバック）
- 他事業所の苦情共有（自施設に活かす）
- 検討会の開催（苦情や事故の再発防止）
- 運営推進会議で報告・相談（情報のオープン化）

6、最後に

< コロナ対策 >

- ①面会・出入制限
 - ②次亜塩素酸水の噴霧器導入
 - ③タブレット端末での会議
 - ④同端末での面会
- ⇒お客様・ご家族様にも好評
(海外の方もWeb面会予定)



私達はお客様の状態に応じて、自分達の
「やれること」「やるべきこと」を追求します

**グループホームの説明は以上と
なります。次ページからは
看護小規模多機能の説明です。**

4、サービスの質（個別処遇） 基本的な考え方

ステップ
1

理解すべき

前提

お客様は疾患を抱えながらも、住み慣れた自宅での生活を希望されている

ステップ
2

把握

すべき
こと

自宅環境はどうか
ご家族様の状況とご思いはどうか
医療機関の意見はどうか

ステップ
3

その上での

ケア プラン

- 自宅環境の整備（ハード、改修など）
- 自宅状況の改善（ソフト、不安感など）
- 在宅復帰への道筋

4、サービスの質（個別処遇）

自立支援・家族連携などの取り組み

ステップ
3

その上での
**ケア
プラン**

- 自宅**環境**の整備（ハード、改修など）
- 自宅**状況**の改善（ソフト、不安感など）
- 在宅復帰への**道筋**

ステップ
4-1

**退院
直後
の支援例**

まず) 泊りに比重を置き再アセス
次に) 通所を中心にADL向上
そして) 訪問を増やしながら家族の指導
常に) 医療機関への報連相

4、サービスの質（個別処遇）

自立支援・家族連携などの取り組み

ステップ
4-2

レス パイト の支援例

まず) 泊りを入れながら介護者の立て直し
次に) 通所を中心に本人の心身リズム調整
そして) 訪問時には家族との談話
常に) 医療機関への報連相

ステップ
5

結果

- ご本人の希望とご家族の生活の両立
- 家族と私達の信頼・協力関係構築
- 医療機関とのスムーズな連携

5、サービスの質（事業所全体）

家族、地域住民などとの日常的な交流取り組み

ご家族

お客様の状態（＝在宅復帰後や日帰り入院中）



①連絡ノート（ご様子・医療面での気づき）

⇒看護職・介護職両面での報告

②訪問看護のノウハウ（コミュニケーション）

⇒ご家族によるケアのアドバイス、雑談



ご家族の不安・孤独感の解消＝信頼関係

5、サービスの質（事業所全体）

衛生管理、感染症対策

職員を守る = お客様を守る

新たなリスク要因

～職員目線の場合～

通所 高 (☆)

訪問 高 (☆☆)

送迎 高 (☆☆☆)

新たなリスク要因

～お客様目線の場合～

訪問 高 (☆)

通所 高 (☆☆)

送迎 高 (☆☆☆)

送迎⇒最も3密に陥りやすい

5、サービスの質（事業所全体）

衛生管理、感染症対策

職員を守る＝お客様を守る

訪問時の対策

- 消毒液携行（都度・迅速に使用）
- 防護備品処理（車両乗込み前、密閉ゴミ箱）

通所時の対策

- 食事・レクなどの場面でのレイアウト（非対面）
- 24時間空中噴霧による殺菌（次亜塩素酸水）

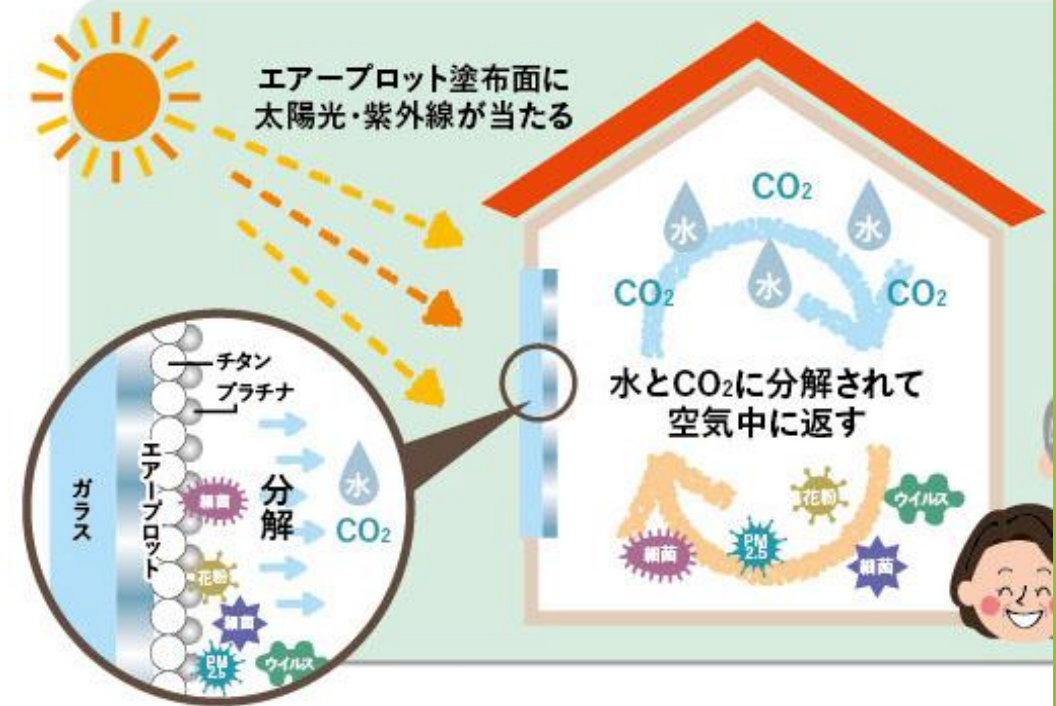
5、サービスの質（事業所全体）

衛生管理、感染症対策

職員を守る = お客様を守る

送迎時の対策

- 消毒液携行（都度・迅速に使用）
- ルートの工夫（乗り合い数制限）
- （携帯型）次亜塩素酸水噴霧器の導入
- 有機物質分解コーティング剤の
車両ガラス面塗布



5、サービスの質（事業所全体）

家族、地域住民などとの日常的な交流取り組み

地域住民・ボランティア

①自治会との連携⇒お互い顔の見える関係作り

- ・町内会、自主防災組織

②学校との連携

- ・一宮中学校 「一宮おもてなし隊」
「学校支援ボランティア」

6、最後に

<複合型施設として>

私たちはグループホームの『**あるべき姿**』を16年間追求して参りました。また小規模多機能・訪問看護の運営実績もごぞいます。

本計画では『**相乗効果**』を生み、地域の皆様に頼られるよう、サービスに磨きをかけて参ります！！

私達はお客様の状態に応じて、自分達の
「やれること」「やるべきこと」を追求します

ご清聴ありがとうございました

令和 2年 7月 21日

(株)アイ・エム・シーライフステージ